

---

平成22年度内閣府  
国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業

---

実 施 報 告 書

## はじめに

男女共同参画社会の形成は、広く国民に関わるとともに、あらゆる分野において推進すべきものであり、国のみならず地方公共団体、民間団体における取組の促進が極めて重要です。

このため内閣府では、男女共同参画社会づくりに向けての国民的な取組を推進するため、男女共同参画推進連携会議（※）及び同会議構成団体との共催により、男女共同参画社会づくりに資するテーマに関連したセミナーやシンポジウム、またこれらに類する研修会・学習会・出前授業等を「国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業」により実施しています。

このたび、平成22年度事業の概要について、各共催団体が作成した実施報告がまとまりましたので、今後、男女共同参画の推進に関するセミナー等の企画・立案を検討の際には御活用ください。

（※）男女共同参画推進連携会議は、広く各界各層との情報・意見交換等を通じて、民間との連携ネットワークを形成し、国民的な取組を推進することを目的として、平成8年より開催しています。

内閣府男女共同参画局

## 目 次

1. グローバルリーダーを目指して～グローバルに活躍する APEC の女性エグゼクティブたち～  
..... P. 4  
(特定 NPO 法人ジャパン・ウィメンズ・イノベティブ・ネットワーク等との共催)
2. 理系女性のためのグローバルキャリアディベロップメント～APEC 諸国のロールモデルに学ぶ～  
..... P. 6  
(特定 NPO 法人ジャパン・ウィメンズ・イノベティブ・ネットワーク等との共催)
3. 地方発！シンポジウム「女性と経済」～地域を変える女性起業家たち～  
女性の元気が日本経済を元気にする！..... P. 7  
(特定 NPO 法人日本 BPW 連合会等との共催)
4. 男女共同参画推進長野県セミナー～見つめてみよう！私の働き方～..... P. 9  
(一般社団法人国際女性教育振興会等との共催)
5. 講演とシンポジウム「多文化共生社会と女性の経済活動」..... P. 12  
(一般社団法人国際女性教育振興会等との共催)
6. 女性活躍が企業を伸ばすー経営戦略としてのワーク・ライフ・バランスー..... P. 14  
(ふくい女性ネット等との共催)
7. 青森でもっともっと「起業する」「経営に参画する」女性をふやそう！..... P. 16  
(青森県男女共同参画推進協議会等との共催)
8. 経済活動に携わる女性の活躍・役割  
～働く、創る、学び研究する、経営する 女性たちのメッセージ～..... P. 18  
(日本生活協同組合連合会等との共催)
9. あいち・社会にチャレンジするあなたへのメッセージ～今こそ求められる女性の起業力～  
..... P. 20  
(中小企業家同友会全国協議会等との共催等との共催)
10. 2011 やまぐち女祭りプロジェクト 繋がり 協働して 創造する 女性の経済活動  
..... P. 22  
(中小企業家同友会全国協議会等との共催等との共催)

---

**グローバルリーダーを目指して**  
**～グローバルに活躍する APEC の女性エグゼクティブたち～**  
**(特定 NPO 法人ジャパン・ウィメンズ・イノベティブ・ネットワーク等との共催)**

---

## 1. 開催趣旨・目的

日本の企業・組織で働く女性たちとその周囲の関係者に、APEC 経済圏の企業で活躍するロールモデル（女性エグゼクティブ）の講演やパネルディスカッションを聞く機会を設け、今後のキャリア構築の参考としてもらうと同時に、グローバルビジネスパーソンとしての日本人の生き方についても一考する機会としてもらう。

## 2. シンポジウム等の名称・テーマ

2010 APEC 女性リーダーズネットワーク (WLN) 会合サイドイベント

グローバルリーダーを目指して～グローバルに活躍する APEC の女性エグゼクティブたち～

## 3. 日時・場所・参加者数

- ・平成 22 年 9 月 22 日（水）10 時～13 時
- ・東京大学 情報学環 福武ホール
- ・108 名

## 4. プログラム

10:00 オープニング

10:05 基調講演「グローバルリーダーの条件」

橘・フクシマ・咲江

G&S Global Advisors Inc. 代表取締役社長

コーン・フェリー・インターナショナル株式会社

アジア・パシフィックシニア・アドバイザー

11:20 パネル・ディスカッション「グローバルリーダーを目指して」

モデレーター：佐々木 順子 NPO 法人 J-Win 副理事長

パネリスト：

アキレス 美知子（日本）株式会社あおぞら銀行常務執行役員人事担当

Elizabeth J. Cobbs（米国 Ph.D., Senior Director, Public & Industry  
Policy Office, BANYU PHARMACEUTICAL CO., LTD.

BO Sohn（韓国）Executive V.P. and COO of Prudential of Korea First  
Chair of K-WIN

Teri Teo（シンガポール）Regional Channels Manager, Agfa ASEAN

Julie Zhou（中国）HR Executive, IBM China Global Delivery Center

12:50 クロージング

13:00 終了

## 5. 参加者からの主な意見

- ・ 9割を超える方から、とても良いイベントだったとの評価をいただいた。
- ・ 具体的にどうやってキャリアを磨いていたのか、グローバルにどう対応していくのか聞きたかった
- ・ 理系女性がリーダーとして活躍するための具体的アドバイスが欲しかった。
- ・ 理系女性の育成方法をぜひ聞きたかった。
- ・ 男性にこのようなイベントにもっと参加してもらいたい。

## 6. シンポジウム等を通して得た成果（効果）と課題

科学技術の企業・研究職で活躍している女性達に特化した企画ということの評価をいただいた。ロールモデルとなる女性技術者も少なく、「もっと聞きたい・もっと知りたい」という意見が多数あり、理系女性をターゲットとした企画の必要性を再認識した。

## 7. 今後の課題

- ・ Global な視野での活躍にふれることによる 企業で働く女性技術者の活性化
- ・ 理系女子学生への啓蒙により、企業で働く女性技術者を増やす取り組み（後進育成）



会議の様子

以上

---

**理系女性のためのグローバルキャリアディベロップメント**  
**～APEC 諸国のロールモデルに学ぶ～**  
**(特定 NPO 法人ジャパン・ウイメンズ・イノベティブ・ネットワーク等との共催)**

---

## 1. 開催趣旨・目的

APEC/WLN 会合・分科会③「女性技術者・科学者のリーダーの育成」のパネリストにジャパン・ウイメンズ・イノベティブ・ネットワーク（J-Win）メンバーを加えたグローバルに活躍している科学・技術分野の女性リーダーから、ご自身が辿ってこられたキャリアの軌跡、女性技術者・科学者としての体験談・苦労話などを話して頂くことにより、将来グローバルに活躍したい、あるいは自身のキャリア開発の道筋を見つけたいと思っている女性技術者・科学者・学生にとって参考となるロールモデルを提示し、また自らのキャリアプランの一助としていただく。＊世界的な理系技術者の団体 IEEE の日本女性技術者組織 WIE との共催で行った。

## 2. シンポジウム等の名称・テーマ

理系女性のためのグローバルキャリアディベロップメント～APEC 諸国のロールモデルに学ぶ～

## 3. 日時・場所・参加者数

- ・平成 22 年 9 月 22 日（水）午前 10:00～12:30
- ・女性と仕事の未来館（東京都港区）
- ・175 名

## 4. プログラム

基調講演「日本企業におけるジェンダーバイアスの現状と施策」

國井 秀子氏（日本）2010 APEC WLN 実行委員会 副実行委員長、リコーITソリューションズ株式会社 取締役 会長執行役員

パネルディスカッション「理系女性のためのグローバルキャリアディベロップメント」

モデレータ：山口しのぶ氏（日本）東京工業大学学術国際情報センター教授

パネリスト：

イレーナ・アトフ氏（オーストラリア）Chairperson, IEEE Women in Engineering Technical Manager, Network Architecture Reliability Group, Telstra Corporation

エリザベス・フォン・ブランド氏（チリ）Associate Professor, Universidad Católica del Norte

シャオ・フォンジン氏（中国）Vice President, Qingdao University Vice Board Chairman, Qingdao Haier Qingdao Software Co., Ltd.

松浦由美子氏（日本）日本電信電話株式会社 NTT サービスインテグレーション基盤研究所主幹研究員

松山科子氏（日本）ソニー株式会社システム技術研究所シニアリサーチャー、統括課長

以上

---

**地方発！シンポジウム「女性と経済」～地域を変える女性起業家たち～**  
**女性の元気が日本経済を元気にする！**  
**(特定 NPO 法人日本 BPW 連合会等との共催)**

---

## 1. 開催趣旨・目的

APEC 女性リーダーズネットワーク (WLN) のテーマである「女性による新たな経済活動の創造—人・自然・文化を活かす—」にあわせ、「農村からの発信」として、東北を中心に活躍する女性やそれを応援する方による、事例報告及びパネルディスカッションを行い、農村女性の起業活動を理解してもらい、地域の食のネットワークづくりから、地産地消や食料自給率向上、さらに農村や農業者の間に留まらず、女性の経済活動への参画から、男女共同参画社会の推進への理解を深める。

## 2. シンポジウム等の名称・テーマ

地方発！シンポジウム「女性と経済」～地域を変える女性起業家たち～  
女性の元気が日本経済を元気にする！

## 3. 日時・場所・参加者数

- ・平成 22 年 11 月 27 日（土）13：00～16：00
- ・エル・パーク仙台スタジオホール
- ・122 名

## 4. プログラム

13:00 ～ 15:00 第 1 部 事例報告

萱場 市子 農家レストラン「もろや」オーナー

渋谷 文枝 農家レストラン「ふみえはらはん」経営

新関 さとみ さとみの漬物講座企業組合理事長

庄子 知秀 株式会社 藤崎 食品部商品担当係長（バイヤー）

15:00 ～ 16:30 第 2 部 パネルディスカッション

コーディネーター 齋藤 京子 （社）農山漁村女性・生活活動支援協会 専務理事

## 5. 参加者からの主な意見

- ・人選がとても良かったと思います。それぞれの個性があり皆さんエネルギーに満ち溢れており、印象的でした。私も夢をもって生きたいと思いました。
- ・山形弁・宮城弁の出てくるみなさんのお人柄がとても親近感もてて、様々な面から農村、女性、起業について学ぶことができたよかった。
- ・わかりやすく、発表者の人柄が感じられる内容でした。1人1人の長さも、集中してきくのに適当だったと思います。心地よい気持で帰ることができます。みなさんの話で元気やる気が出ました。

- ・ 4人の方々の生活・仕事・人生・生き方に感激致しました。まわりをまきこむだけの魅力のある方々だと思います。
- ・ 渋谷さんの「一歩出るとねたまれるが三歩出れば心地よい風を感じられる」ということばに感動！！
- ・ 庄子さんの「バックギア」には入れない（前に進むことが大事）という生き方に共感しました。前進あるのみ、ふたたび、パワーをいただきました。
- ・ 全体にすばらしいシンポジウムであった。シンポジウムの構成がよかった。
- ・ ないものねだりではなく地域の幸や人材・風土などのあるもの生かしをしながら、地域内の経済循環、雇用(働く場)づくりに取り組まれている点。「命をつなぐ」という使命も担っていると感じた。
- ・ 地域でがんばる女性たちをつなぎ、地域を元気にするという使命をにない、男性も女性もイキイキとくらせる地域づくりをめざすパートナーとして歩んでゆきます。
- ・ 地域でがんばっている皆さん(点)を線→面へとつなげるべく、それぞれの良さを伝えられる存在になりたい。
- ・ このような女性起業の活動が男女共同参画社会の形成につながるきっかけとなるので、多いに広がってくれれば良いと思う。

## 6. シンポジウム等を通して得た成果（効果）と課題

「食」という誰もが関心を持つテーマと、地元のパネリストを招いたことにより、多くの参加者の共感を呼ぶとともに、女性の起業者が事業を拡大し、地元を活性化するにあたっての問題点及び解決策の共有ができ、一人ひとりが、より身近な問題として『女性の経済活動への参画及びその成功が地域社会の経済活性化に貢献し、男女共同参画社会の推進につながる』ことへの理解が深まった。

## 7. 今後の課題

- ・ 女性の社会参画の実現にむけた、女性自身の経済力と行動力の育成と、意欲的に活動できる環境整備への働きかけ。
- ・ ワーク・ライフ・バランスを進めるための社会的インフラ、
- ・ 女性起業に当って利用しやすい資金、融資制度
- ・ 就労・経済活動の停滞の解消
- ・ 女性が長く働き続けられるための、男性・企業の協力・意識改革の促進。
- ・ 実践をとおした意識づくりのための、成功事例の発信・共有、交流の機会創出。

以 上

---

# 男女共同参画推進長野県セミナー ～見つめてみよう！私の働き方～ (一般社団法人国際女性教育振興会等との共催)

---

## 1. 開催趣旨・目的

男女共同参画社会推進を目指す「男女共同参画学習アドバイザー海外派遣事業」は40年目を迎える。長年にわたる諸外国における調査・視察研修事業参加者の中から、国際的な視野が契機になり様々な働き方をする女性が生まれている。女性の特技・特性を活用してキャリアアップを図った人、男性社会に列し奮闘する人々がある。

本年度の海外研修では、スウェーデン王国、ロシア連邦の女性の経済活動の実態を視察研修する。EU圏の揺れる経済問題が女性の生活に及ぼす最新情報などは貴重な参考になろう。今後の日本の発展に必要な欠くべからざる多文化共生社会のあり方や自立的な働き方などを、地域の特性を考慮しつつ論じあう場を展開したい。

事業は、神奈川県と長野県支部で開催し、女性の経済活動への参画に関する理解を深めるとともに、地域の活性化を図りたい。

## 2. シンポジウム等の名称・テーマ

男女共同参画推進長野県セミナー～見つめてみよう！私の働き方～

## 3. 日時・場所・参加者数

- ・平成22年12月11日(土) 13時～16時
- ・長野県男女共同参画センター“あいとぴあ”ホール(長野県岡谷市)
- ・150名

## 4. プログラム

13:00～13:10 オープニング

13:10～14:10 講演「フィンランドー輝く女性の働き方」

講師：メッツオペーパージャパン株式会社

マーケティングコーディネーター 堀内都喜子氏

14:20～15:50 パネルディスカッション「女性の経済活動への参画とその課題」

コーディネーター：(社)国際女性教育振興会長長野県支部長 山田千代子氏

パネリスト：

- ・ハイブリットジャパン(株)代表取締役 山浦悦子氏
- ・社会福祉法人「暖家」理事長 山田幸恵氏
- ・松本職業能力開発校校長(国女振会員) 走川朋子氏

アドバイザー：堀内都喜子氏

15:50～16:00 クロージング

## 5. 参加者からの主な意見

- ・日本の長野県出身の若い女性から、実体験したフィンランドの国の事情と女性の生き方を聞き、女性の社会における働き方について日本の現状との違いに衝撃を受けた。
- ・女性だから、〇歳だからと自分を日本社会の枠にはめず、物の見方、考え方を広く持つと、女性の社会的・経済的活躍が進んでいくのだと考えさせられた。
- ・女性起業家の意気込みと使命あふれる話に感銘を受けた。
- ・女性が働くことは、自分自身の生き方を充実させると共に、納税者として社会貢献することでもあると再認識した。
- ・具体的な話で、興味深く自分自身のこととして考えられた。自分が自主的に行動しなければ、と思った。
- ・とても良いセミナーでした。
- ・日本の年金制度素晴らしさ、女性の納税意識の低さに気付かされた。
- ・女性の“かせぎ”にならないボランティアの考え方について知りたい。
- ・聴覚障害者の声「手話通訳付きということで参加したが、手話は3分の1位しか理解出来なかった。文字による通訳があれば良かったのに」
- ・子育てしながらフルタイムで働いているが、仕事と家庭の両立はとても大変。女性が納税者として十分に働くには、子育て、介護を母、妻、娘以外の人も担う仕組みが必要。納税できる仕事と子育ての両立が可能な社会になればと思う。
- ・世間、地域の中では、男女共同参画の考え方には不安、おどしを感じる。どう変えるか。
- ・男性参加者にも関心が持てる内容にしてほしい。

## 6. シンポジウム等を通して得た成果（効果）と課題

- ・女性の地位が確率されているフィンランドの実態を知らせ、日本の女性に働くことへの意識の変革を求めた。多くの反応があった。
- ・地域で働く女性起業家の実態報告は、働くことへの意識の変革に役立った。働くことは生きること、地域社会に貢献することである。
- ・フィンランド語教育を受け、フィンランド企業で働き、日本の新しい生き方を提言する地元出身の若い女性講師の生き方を紹介し応援した。
- ・日本社会の年金、保険、教育、税制、民法などのシステムを知ることが自分の生き方の方向をきめるという話しの糸口に至ったこと。—これからの継続学習課題である。
- ・本会の海外視察研修参加者 走川朋子さんが、研修後人材開発校を起業した実例を発表出来たことは真にうれしいことである。

## 7. 今後の課題

- ・働くことで社会制度理解が生まれる。制度の国際比較から、教育を受けた日本女性の働きが日本経済の活性化や少子高齢社会に必要な不可欠であると広めていきたい。
- ・本会のフィンランド研修の実績から、起業家教育、教育制度、教育者向上支援制度の実態などと、入門編でないフィンランド講演の持って行き方を準備できたのではないかとの反省がある。女性教育者の地位は高いし尊敬されている。

- ・女性は自分の働き方を、もっと主体的に捉えるように意識変革が迫られている。  
女性企業主が、パート女性の扶養控除内に制限した働き方の無責任さを怒った。扶養控除の問題点と自分が社会人としてとるべきリスクのことなど研修課題である。
- ・女性の人生設計も若い時から主体的に捉えていく長い時間があると知らせたい。  
今回のセミナー参加者は、残念ながら50代以上の人が多かったが、これからの時代、60歳定年あとは余生などという考えは通用しないこと。その年代なりの社会貢献の仕方があることを広めていきたい。
- ・会場設定をもっと参加者を得られる場所にしたい。
- ・シンポジウム開催時期が、12月では参加者増は困難である。なるべく早い時期にしたい。



会議の様子1



会議の様子2

以上

---

**国際女性教育振興会神奈川県セミナー**  
**講演とシンポジウム「多文化共生社会と女性の経済活動」**  
**(一般社団法人国際女性教育振興会等との共催)**

---

## 1. 開催趣旨・目的

男女共同参画社会推進を目指す「男女共同参画学習アドバイザー海外派遣事業」は40年目を迎える。長年にわたる諸外国における調査・視察研修事業参加者の中から、国際的な視野が契機になり様々な働き方をする女性が生まれている。女性の特技・特性を活用してキャリアアップを図った人、男性社会に列し奮闘する人々がある。

本年度の海外研修では、スウェーデン王国、ロシア連邦の女性の経済活動の実態を視察研修する。EU圏の揺れる経済問題が女性の生活に及ぼす最新情報などは貴重な参考になろう。今後の日本の発展に必要な欠くべからざる多文化共生社会のあり方や自立的な働き方などを、地域の特性を考慮しつつ論じあう場を展開したい。

事業は、神奈川県と長野県支部で開催し、女性の経済活動への参画に関する理解を深めるとともに、地域の活性化を図りたい。

## 2. シンポジウム等の名称・テーマ

講演とシンポジウム 多文化共生社会と女性の経済活動

## 3. 日時・場所・参加者数

- ・平成23年1月29日(土) 13時～16時
- ・男女共同参画センター横浜南大研修室(神奈川県横浜市)
- ・90名

## 4. プログラム

【基調講演】「多文化共生社会と女性の経済活動～グローバル化の流れの中で～」

講師：東京大学社会科学研究所教授 大沢真理氏

【イントロダクション】多文化共生 神奈川県の現状

講師：神奈川県県民局くらし文化部国際課長 川口真由美氏

【シンポジウム】「地域に根ざした女性力」

コーディネーター：大沢真理氏

パネリスト：

- ・かながわ外国人すまいサポートセンター理事長 ペいあん氏
- ・深澤料理教室主宰(国女振監事) 深澤勢子氏
- ・グリーンタフ工業代表取締役、日本農法研究会代表(国女振会員) 鈴木二三子氏

## 5. 参加者からの主な意見

- ・女性の経済活動参加の視点がとても重要だと思った。

- ・基調講演は、理論的でわかりやすかった。
- ・「生きにくい国ニッポン」の課題を理解した。
- ・「みんな違って、みんないい」ことが多文化共生社会の基本であると理解できた。
- ・再度勉強しなおしたいと刺激をうけた良い会だった。
- ・女性の持つ力が社会を変えるのだと確信した。
- ・男女共同参画、多文化共生の問題と経済のつながりを知った。
- ・楽しく面白いセミナーだった。
- ・3人のパネリストが個性豊かで素晴らしかった。
- ・パネリストのお話は楽しく、その中にジェンダーをかんがえるポイントがあった。
- ・女性の感性を味方にして、料理教室を主宰運営する、農業後継者として自然に学ぶ土壌改良技術を成功させた等の経済活動を成功させているパネリストの生き方を学んだ。
- ・国女振の海外研修で得た知見を、実際活動に見事に活かしている。
- ・大沢先生とパネリストとのバランスが良く、あたたかい雰囲気につつまれて楽しかった。
- ・人間の多様性に対する概念を通じて、様々なニーズに対応する大切さを痛感した。
- ・多文化共生社会を身近な問題として考える機会を得た。
- ・時間が短くて残念であった。

## 6. シンポジウム等を通して得た成果（効果）と課題

- ・多文化共生社会の認識が得られたこと。
- ・女性の経済活動が日本経済、日本社会の活性化のキーであると共通認識出来たこと。
- ・女性の視点、女性の感性を生かした社会活動の報告は、温かい雰囲気楽しかった。とたく堅苦しくなりがちなテーマを楽しく学び、参加者を前向きな姿勢にしたこと。
- ・女性の経済活動が、ジェンダーを逆手にとって成功した事例には、得られるものが多い。
- ・多様性を容認できる社会へ開かれていく時代の一員になろうと呼びかけた。
- ・多文化共生社会、女性の経済活動などの大きなテーマを網羅した会を成功裡におさめることが出来た。

## 7. 今後の課題

- ・大きなテーマを、継続的に追求して報告しあうことが必要と強く感じた。
- ・同じような視点を共有できる他の市民グループと、ネットワークを組んで協力していく姿勢が必要と思った。



会議の様子1



会議の様子2

以上

---

# 女性活躍が企業を伸ばす ー経営戦略としてのワーク・ライフ・バランスー (ふくい女性ネット等との共催)

---

## 1. 開催趣旨・目的

福井県の夫婦のいる世帯数に占める共働き世帯数の割合は、58.2%と日本一の数字となっている。しかし、職場において管理職に就いている女性は非常に少なく、福井県の女性がさらに優れた能力を存分に発揮するためには、地域や職場で、さらに責任ある役割を担うことができる社会づくりが重要である。

2010年はAPEC女性リーダーズネットワーク会合が開催された。その趣旨に関連した講演会を開催することにより、より多くの女性の意識の向上を目指す。

## 2. シンポジウム等の名称・テーマ

女性活躍が企業を伸ばすー経営戦略としてのワーク・ライフ・バランスー

## 3. 日時・場所・参加者数

- ・平成23年1月22日(土) 13:00~15:30
- ・福井県生活学習館ユー・アイふくい多目的ホール(福井県福井市)
- ・200名

## 4. プログラム

### (1) 講演会

演題 女性活躍が企業を伸ばすー経営戦略としてのワーク・ライフ・バランスー  
講師 株式会社東レ経営研究所ダイバーシティ&ワークライフバランス研究部長  
渥美 由喜 氏

### (2) 2010APEC女性リーダーズネットワーク(WLN)会合参加報告会

報告者 ふくい女性ネット 笠松 尚子(株式会社SHINDO)

## 5. 参加者からの主な意見

- ・ワーク・ライフ・バランスについて具体的な事例紹介があり、わかりやすかった。
- ・これからの時代に合ったテーマだった。
- ・女性活躍に向けて企業が取り組むべきポイントが認識できた。
- ・頭の中ではなんとなくわかっていたが、改めて仕事と家庭のバランスの大切さを感じた。
- ・普段なかなか考えることができない問題についての1つの契機となった。
- ・ワーク・ライフ・バランスを推進するため組織運営や職場での対応のヒントになる話が聞けた。

## 6. シンポジウム等を通して得た成果(効果)と課題

- ・講演会には働く女性だけでなく、男性や企業の人事担当者が多数参加した。

- ・女性が活躍する職場づくりは、女性だけではなく、誰もがいつでもどこでも働きやすい職場をつくることであり、幅広い層にワーク・ライフ・バランスに取り組む意義について理解を深めることができた。
- ・2010APEC 女性リーダーズネットワーク（WLN） 会合参加報告会を併せて行うことにより、このセミナーを開催した目的について明らかにするとともに、ふくい女性ネットが行っているネットワークづくりの重要性について示すことができた。
- ・企画、司会、運営等をふくい女性ネットのメンバーが行うことにより、メンバー自身の能力アップに繋がるとともに、同団体の目的や活動について、広く周知することができた。

## 7. 今後の課題

- ・ふくい女性ネットメンバー一人ひとりの能力アップだけに留まらず、同団体での活動成果を企業にフィードバックし、企業内での女性の活躍を推進していくこと。
- ・企業のトップや人事担当者に対して積極的働きかけを行うことで、福井の女性たちが能力を発揮できる場を一層拡大すること。
- ・ふくい女性ネットの活動をいままで以上に県内外に広く発信し、ネットワークの輪を広げていくこと。



会場の様子



渥美由喜氏の講演



ふくい女性ネットメンバーからの報告

以上

---

# 青森でもっともっと「起業する」「経営に参画する」女性をふやそう！ (青森県男女共同参画推進協議会等との共催)

---

## 1. 開催趣旨・目的

青森県の基幹産業である農業・漁業分野において女性の参画は単なる労働力というカタチが続いてきたが、ここに来て、産地直売施設などの進展で、起業する女性が増えつつあるものの、ビジネスとは、経営に関する学びの機会が未だ少ないところから、「起業経験者」の成功、失敗談の中からのアドバイスを広く発信、「女性の起業」への関心と理解を得ると共に、起業女性の経営の質を高めたい。

加えて、青森県ではまだ少ない経営体の役員として永らく『経営に参加』してきた経験者の成功、失敗談の中からのアドバイスをも広く発信し、「女性の経営参加」を促し、女性も“デキル”への理解を得たい。

## 2. シンポジウム等の名称・テーマ

青森でもっともっと「起業する」「経営に参画する」女性をふやそう！

## 3. 日時・場所・参加者数

- ・平成23年1月27日（木）14時～16時
- ・青森県観光物産館アスパム（青森県青森市）
- ・213名

## 4. プログラム

### 【パネルディスカッション】

テーマ：「起業し・経営に参加した経験から」

コーディネーター

北村 真夕美 氏（(株)青森経済研究所代表取締役社長、  
青森県男女共同参画推進協議会会長）

パネリスト

- ・川村 綾子 氏（農産物直売施設「名川チェリーセンター」、  
名川チェリーセンター101人会初代会長（創業者））
- ・杉澤 むつ子 氏（(株)杉澤興業 ホテルグランメール代表取締役会長）
- ・野坂 ナリ子 氏（ホタテ養殖「野坂進勝丸」共同経営者）
- ・山田 悦子 氏（十和田青果(株)常務取締役）

## 5. 参加者からの主な意見

- ・社会参画している女性経営者たちから苦労や乗り越えてきたポイントを聞いた
- ・モチベーションを高く持って生活したい

- ・仕事を通じて生き生きとした社会生活を送ることの素晴らしさを伺った
- ・パネリストがはつらつとしていて輝いていた
- ・自分にも可能性があると思った など

## 6. シンポジウム等を通して得た成果（効果）と課題

青森県に、今回のパネリスト達のような女性達が大いに活躍している事を再認識し、「元気と夢をもらった」の声が多くあり、今後の当団体の活動に「応援団」の輪が広がる期待感が持てた。

## 7. 今後の課題

今後も、「経営の中核で働く意気込みを持つ女性」を、一人でも増やすための「小さなフォーラム」を<県内各市町村>などで展開し、“女性もデキル”への理解を広げていきたい。(財源は企業協賛にて賄う予定)



会議の様子

以上

---

# 経済活動に携わる女性の活躍・役割 ～働く、創る、学び研究する、経営する 女性たちのメッセージ～ (日本生活協同組合連合会等との共催)

---

## 1. 開催趣旨・目的

昨年日本で開催されたWLNより、女性の活躍には身近なロールモデルとネットワークをつくるのが重要だと学びました。地域、NPO、生協など、様々な分野で活躍されている女性たちにお集まりいただき、活動や事業を通してどんな地域づくりに参加されているのか、どんなキャリアを積み上げてこられたのかについてお話しいただきました。

## 2. シンポジウム等の名称・テーマ

日本生協連中央地連 第3回男女共同参画懇談会

経済活動に携わる女性の活躍・役割～働く、創る、学び研究する、経営する 女性たちのメッセージ～

## 3. 日時・場所・参加者数

- ・平成23年2月3日(木) 13:30～16:30
- ・日本生協連「コーププラザ」4F(東京都渋谷区)
- ・104名

## 4. プログラム

【講演】「日本企業におけるジェンダーバイアスの現状と施策(仮)」

講師：リコーITソリューションズ(株)取締役会長執行役員 國井 秀子氏

【パネルディスカッション】「経済活動に携わる女性の活躍・役割

～働く、創る、学び研究する、経営する 女性たちのメッセージ～」

パネリスト

- ・北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床センター助手 日置 真世氏
- ・(有)ウィウィ 取締役社長 橘 和子氏
- ・生活協同組合パルシステム千葉 理事長 平野 都代子氏
- ・生活協同組合さいたまコープ 参加とネットワーク推進室 課長 根岸 公江氏

コーディネーター

神奈川県生活協同組合連合会 専務理事 丸山 善弘氏

## 5. 参加者からの主な意見

- ・生協だけでなく、様々な団体と連携してポジティブアクションをすすめていくべき。
- ・自分のやりたいことではなく、困っていることや求められていることに目を向けると自分のやれることが見えてくるというお話しは今後の活動のヒントになりそう。
- ・組織を見つめ直し、自分自身を見つめ直すヒントにもなった。自分のスキルの「たな卸し」をしてみようと思った。

- ・地域コミュニティづくりに生協がもっと役割を発揮することが必要。

## 6. シンポジウム等を通して得た成果（効果）と課題

國井秀子氏の講演では、日本企業におけるジェンダーバイアスの問題について、女性の少ないIT業界で活躍されてきたご自身の経験をふまえ、企業の中で女性の登用が進まない問題についてご報告いただきました。企業で働く人材を多様化するためには、女性社員へのキャリアプランの作成やロールモデルの提示とともに、トップダウンの経営戦略や上司の意識改革（優秀な女性を部下にして成功事例をつくる）が必要だと教えていただきました。

パネルディスカッションでは、立場の異なる4名の女性からご自身の経験を中心にお話しいただきました。NPO法人を運営されている日置真世氏からは、自分が困っていることの情報発信してニーズを可視化し、人とのネットワークによって解決につながっていくこと、まずは自分のできることを探し、やってみることが大事ということを力強くお話しいただきました。

生協の組合員理事の経験を経て、ジャムの製造・販売会社を起業された橘和子氏からは、50歳を過ぎて自分のスキルの「たな卸し」をしたことで問題意識が生まれたことや、起業の際の経済的リスクを女性自身が背負うことの覚悟について教えていただきました。

組合員理事から理事長になられた平野都代子氏は、組合員理事は「くらしの視点を持つ理事」として専門性を生かさなければいけないということや、パルシステム千葉では地域の一員として役割を果たせるよう「コミュニティ生協」をめざしていることのご説明をいただきました。

最後に、現役生協職員である根岸公江氏からは4人のお子さんを育てながら働いてこられたのは先輩職員や組合員の励ましがあつたからという体験談や子育てをひとりではなく地域や職場でしていくことの大切さを学びました。

## 7. 今後の課題

- ・他企業や他団体と連携を強化するために、情報交換や交流をおこなっていく
- ・現在も一部生協で実施されている「起業塾」の取り組みを全国に広めていく



会議の様子1



会議の様子2



会議の様子3

以上

---

# あいち・社会にチャレンジするあなたへのメッセージ ～今こそ求められる女性の起業力～ (中小企業家同友会全国協議会等との共催)

---

## 1. 開催趣旨・目的

我が国の起業家とりわけ女性起業家の創業は、海外諸国と比べても未だ低い水準にとどまっております。創業ノウハウの不足、取引機会や経営資源のアクセス、金融、税制や社会保障制度など、多くの課題を抱えています。一方、女性の社会参画は進んでおり、女性の感性をいかした教育・福祉・環境などの分野でのユニークな起業も多く見られます。名古屋圏の起業家精神にあふれた次世代・女性起業家こそ、明日の地域社会の主役であり、地域経済の牽引役になるといっても過言ではないでしょう。本シンポジウムでは、愛知に縁のある女性起業家が自らの起業・経営事例を紹介しつつ議論することにより、課題の克服へ向けたメッセージを導き出したいと思えます。

## 2. シンポジウム等の名称・テーマ

あいち・社会にチャレンジするあなたへのメッセージ～今こそ求められる女性の起業力～

## 3. 日時・場所・参加者数

- ・平成23年2月26日(土) 13:00～16:00
- ・名古屋市中企業振興会館吹上メインホール(愛知県名古屋市)
- ・300名

## 4. プログラム

【第1部：基調講演】「今こそ求められる女性の起業力」

講師：(株)ママ・サービス取締役会長 森本富美子氏

【第2部：パネルディスカッション】「あいち・社会にチャレンジするあなたへのメッセージ」

コーディネーター

(株)ラッシュ・インターナショナル 代表取締役 倉田満美子氏

パネリスト

- ・(株)ママ・サービス取締役会長 森本富美子氏
- ・アユティーノ 代表者 高森由美子氏
- ・NLM デザイン 代表者 坂元誉子氏
- ・(有)ソフィア企画 代表取締役 石塚智子氏

**あいち・社会にチャレンジするあなたへのメッセージ**  
**～今こそ求められる女性の起業力～**

●開催日時  
**平成23年2月26日(土)**  
 13:00～16:00(受付は12:30から)

●プログラム

13:15～ 第1部 / 基調講演

「今こそ求められる女性の起業力」

株式会社、京都の映像デザイナーと結婚、1993年、東京の映像デザイナー業の傍ら、3人の子どもを育てながらワーキングママのアンブレラを10年続ける。1998年、その経験に基づき、ベビーシッター業、家事代行業を起業し、成功を収める。

講師・パネリスト  
 高本美生子 氏 徳島県立大学准教授  
 (株) ママ・サービス 取締役会長

14:25～ 第2部 / パネルディスカッション

「あいち・社会にチャレンジするあなたへのメッセージ」

起業を挫折した女性から起業のきっかけや成功の秘訣まで、ノウハウ、コツ、起業後の悩みや課題について、質疑応答の場を設け、自分自身にやりを伝えるためのノウハウや自己啓蒙の経験も、実際の起業の難しさや成功の秘訣もリアルな話を聞ける。あいちの起業の発展や成功の秘訣もあいちの女性起業家からリアルな話を聞ける。

パネリスト  
 高田美生子 氏  
 アシスタント 代表  
 高田美生子 氏

パネリスト  
 石塚智子 氏  
 代表取締役  
 石塚智子 氏

パネリスト  
 坂元孝子 氏  
 代表取締役  
 坂元孝子 氏

パネリスト  
 高森美生子 氏  
 代表取締役  
 高森美生子 氏

コーディネーター  
 香取美生子 氏  
 代表取締役  
 香取美生子 氏

●会場  
**名古屋市中区企業振興会館  
 吹上メインホール**  
 名古屋市中区東区吹上二丁目4番3号

●定員  
**300名** (先着順・参加費無料)

●申込方法  
**メール または FAX** にてお申し込み下さい。

●お問い合わせ先  
**APEC WLN 関連イベント運営事務局 (株式会社ネクストアイ内) まで**  
 TEL: 045-509-1172 FAX: 045-509-1172 E-mail: aichi@next-eye.co.jp

●あいち・社会にチャレンジするあなたへのメッセージ

**今こそ求められる女性の起業力**

**参加無料**

■ 会場 MAP

名古屋市中区企業振興会館 (吹上メインホール)  
 会場連絡 TEL: 052-735-2071 (当日のみ連絡可能)  
 地下鉄近鉄線「吹上駅」下車、5番出口より、徒歩5分

■ お問い合わせ

お申込先: APEC WLN 関連イベント運営事務局 (株式会社ネクストアイ内) まで  
**Fax: 045-509-1172** または **E-mail: aichi@next-eye.co.jp**

●主催者  
 株式会社ネクストアイ

●協賛者  
 徳島県立大学、名古屋市中区企業振興会館、名古屋市中区企業振興会、あいち・社会にチャレンジするあなたへのメッセージ実行委員会

●お問い合わせ先  
 APEC WLN 関連イベント運営事務局 (株式会社ネクストアイ内) まで  
 TEL: 045-509-1172 FAX: 045-509-1172 E-mail: aichi@next-eye.co.jp

イベントのチラシ

以上

---

# 2011 やまぐち女祭りプロジェクト

## 繋がり 協働して 創造する 女性の経済活動

(中小企業家同友会全国協議会等との共催)

---

### 1. 開催趣旨・目的

女性には就職・結婚から子育て、そして、高齢化が進むにつれ、親の介護とライフ・スタイルに大きな変化が人生に数回訪れることは避けられず、ワーク・ライフ・バランスについて真剣に考えなければなりません。

山口県の福祉問題をあげると、人口に占める 65 歳以上の比率は 24.3%と全国第 6 位。高齢化率全国一の東和町 (50.7%) を筆頭に 17 市町村で、将来高齢化のピークといわれる高齢化率 33% を越えています。原因には、広島県・福岡県という地方中核都市に挟まれ、若者の流出、定職率の低さ、人口の減少などがあげられます。

私たち同友会女性部会は、近代日本を築いた長州の地、菅首相をはじめ最多 9 名の首相が誕生している山口県を、働きやすく住みやすい、なにより女性の笑顔が絶えないまちづくりに全力で取り組み、I ターン、U ターン、就職や結婚による定住者を増やしていきたいと考えています。そのために「山口で活躍する女性・活躍できるまちづくり」の問題を定義しながら、解決策を導き出し、女性が笑顔で生活できるまちづくりを考えるフォーラムを開催いたします。

### 2. シンポジウム等の名称・テーマ

女性の活躍推進シンポジウム

### 3. 日時・場所・参加者数

- ・平成 23 年 3 月 19 日 (土) 10:00~17:00
- ・中市コミュニティホール Nac (山口県山口市)
- ・300 名

### 4. プログラム

【12:45~13:15】

オープニングセレモニー

【13:15~13:55】

寸劇「僕の生き方と私の生き方~各世代のターニングポイント~」

出演 touch the bonnet、山口県立大学演劇部、山口大学演劇部

【14:05~15:20】

第 2 部 パネルディスカッション

(コーディネーター)

たいよう合同事務所所長、山口県中小企業家同友会代表理事 洪瀬清治氏

(パネリスト)

- ・(有)ブランチェス 代表取締役 権藤光枝氏





内閣府



男女共同参画

内閣府 男女共同参画局 総務課

〒100-8914 千代田区永田町 1-6-1 TEL : 03-5253-2111(内線 37522) FAX : 03-3581-9566